

ISO/TS 20224-10 : 2024

Molecular biomarker analysis -- Detection of animal-derived materials in foodstuffs and feedstuffs by real-time PCR -- Part 10: Duck DNA detection method

分子バイオマーカー解析ーリアルタイム PCR による食品・飼料中の動物由来物質の検出ー第 10 部 : アヒル DNA 検出法

1. 規格の概要

本技術仕様書 (TS) は、食物及び飼料に由来するアヒル特異的 DNA の定性的検出のためのリアルタイムポリメラーゼ連鎖反応 (リアルタイム PCR) 法を規定している。これは、関連するマトリックスから適切な量の PCR 増幅可能な DNA を抽出する必要があり、マガモ (*Anas platyrhynchos*) 及びカルガモ (*Anas zonorhynchos*) に由来するアヒル原材料の検出に適用できる。シラガモ (*Asarcornis scutulata*)、キンクロハジロ (*Aythya fuligula*)、バリケン (*Cairina moschata*)、オシドリ (*Aix galericulata*) の交差検出が観察されている。

2. 検討状況

2023 年 5 月に新業務項目提案が承認され、2024 年 2 月に初版が発行された。

3. 規格の構成 (仮訳)

まえがき

1 適用範囲

2 引用文書

3 用語及び定義

4 科学的根拠

5 試薬及び材料

5.1 一般

5.2 PCR試薬

6 装置

7 手順

7.1 試薬/サンプルの用意

7.2 DNA抽出液の用意

7.3 PCRのセットアップ

7.3.1 反応混合液

7.3.2 PCR制御

7.3.3 リアルタイムPCRサーマルサイクラープレートセットアップ

7.4 温度-時間プログラム

8 許容/拒否の基準

8.1 一般

8.2 識別

9 妥当性状況とパフォーマンス基準

9.1 一般

9.2 ロバストネス

9.3 再現性

9.4 感度

9.5 特異性

10 実験結果

附属書A (参考) GenBank RefSeq ゲノム (refseq_genomes) 及び全ゲノム ショットガン
コンティグ (wgs) のクエリに対する BlastN+2.12.0 の結果

附属書B (参考) カモ科と利用可能な公開ゲノム配列で確立された系統図

参考文献